

# 第4課 範圍的起訖與其間：をはじめ（として）・からして・にわたって・を通じて／を通して・限り・だけ

第4課對應《新完全マスター N2》第1部「I ことがらを説明する」的第4課，主題是「範圍」——某個範圍的代表、整體，以及範圍的全部與極限。本課要學會用～をはじめ（として）舉代表例、用～からして 由小見大、用～にわたって 表示大範圍、用～を通じて／～を通して 表示「整段期間」或「透過某中介」，以及用～限り、～だけ 表示「在範圍之內全部、到極限」。

## ■ 今課目標

- 用～をはじめ（として）舉一個代表例，帶出「包含它在內的多項事物」。
- 用～からして 表達「連這一點都如此，何況整體」，多帶負面評價。
- 用～にわたって 表達「在很大的場所、時間或次數範圍內」。
- 用～を通じて／～を通して 表達「整段期間」（A）或「透過某中介、手段」（B）。
- 用～限り、～だけ 表達「在範圍之內全部、做到極限」。

## 一、～をはじめ（として）：以...為代表

### ■ 舉一個代表例，後面還有很多

～をはじめ（として）舉出一個代表性的例子，暗示「除此之外還有許多同類」。後句多是「包含這個代表在內的多項事物」。

### ■ 形式規則

名詞 + をはじめ（として）／名詞 + をはじめとする + 名詞。

## ■ 例句

1. この式典には、市長をはじめ、多くの関係者が出席した。  
→ 這場典禮上，以市長為首，許多相關人士都出席了。
2. 当店では、和食をはじめとする各国の料理が楽しめます。  
→ 本店以日本菜為首，可以品嚐到各國料理。
3. 田中教授をはじめとする研究チームが、新しい治療法を発表した。  
→ 以田中教授為首的研究團隊，發表了新的治療方法。

## 二、～からして：連...都這樣

### ■ 由一個小例子推及整體

～からして 舉出一個「連這一點都如此」的例子，暗示整體更是如此。所舉的多是非重點、非本質的小地方，後句多接負面評價。

### ■ 形式規則

名詞 + からして。舉一個「連這種小地方都...」的例子來推及整體；後句多為負面評價。

## ■ 例句

1. あの店は、入口の雰囲気からして入りにくい。  
→ 那家店光是門口的氣氛，就讓人難以踏進去。
2. 彼の主張は、前提からして間違っている。  
→ 他的主張，光是前提就錯了。
3. この計画は、予算の見積もりからして甘い。  
→ 這個計劃，單看預算的估算就太天真。

## 三、～にわたって：在...的整個範圍

### ■ 大範圍地展開

～にわたって 表示「某狀態擴展到整個範圍」。接表示場所、時間、次數、範圍等「幅度很大」的詞。修飾名詞時用 ～にわたる + 名詞。

## ■ 形式規則

名詞 + にわたって／名詞 + にわたる + 名詞。接表示場所、時間、次數、範圍等幅度大的詞。

## ■ 例句

1. 道路工事は三か月にわたって続けられた。  
→ 道路工程持續了長達三個月。(時間)
2. 台風の影響は、広い範囲にわたって出ている。  
→ 颱風的影響波及很廣的範圍。(範圍)
3. 二回にわたる手術の末、彼はようやく回復した。  
→ 經過兩次手術，他終於康復了。(次數，にわたる+名詞)

## 四、～を通じて・～を通して：整段期間／透過...

### ■ 兩種用法：期間與中介

～を通じて／～を通して 有兩個方向。A：在某段（較長的）期間內一直維持同一狀態。B：透過某個居中的人或物（手段、媒介）去做某事——注意是「居中」的東西，不是直接使用的工具。

## ■ 形式規則

名詞 + を通じて・を通して。A：整段期間一直（接較長的期間）；B：透過某中介、手段。

## ■ 例句

1. この地方は一年を通じて温暖な気候だ。  
→ 這個地區一年到頭都是溫暖的氣候。(A 期間)
2. 彼とは学生時代を通して親しく付き合ってきた。  
→ 我和他在整個學生時代都一直交往甚密。(A 期間)
3. 通訳を通して相手と交渉した。  
→ 透過翻譯和對方交涉。(B 中介)
4. SNSを通じて、世界中の人と知り合える。  
→ 透過社交媒體，可以結識世界各地的人。(B 中介)

## 五、～限り：在...範圍之內全部

### ■ 範圍之內，盡其所能

～限り 表示「在某個範圍之內，全部、盡其所能」。動詞多接 ている形 或可能動詞（できる限り、知っている限り、力の限り）。要和第5課的 ～限り（は）（只要...就...）分開。

### ■ 形式規則

名詞＋の／動詞辭書形・ている形 + 限り。動詞常接 ている形 或可能動詞。

### ■ 例句

1. できる限りのことはやってみます。  
→ 我會盡力做能做的一切。
2. わたしが知っている限り、彼は約束を破ったことがない。  
→ 就我所知，他從沒失過約。
3. 力の限り、最後まで走り抜いた。  
→ 用盡全力，一直跑到了最後。

## 六、～だけ：到範圍的極限為止

### ■ 做到極限

～だけ（動詞辭書形＋だけ）表示「做到範圍的極限為止」。常接可能動詞，或重複同一個動詞（持てるだけ持つ）；也接「～たい・欲しい・好きな・必要な」。

### ■ 形式規則

動詞辭書形 + だけ。常接可能動詞或重複同一動詞（持てるだけ持つ）；也接「～たい・欲しい・好きな・必要な」。

## ■ 例句

1. 持てる**だけ**の荷物を持って、避難した。  
→ 拿了能拿的所有行李，去避難了。
2. 言いたい**だけ**言ったら、少しは気が済んだ。  
→ 想說的都說個夠，心裡就舒坦了些。
3. 好きな**だけ**召し上がってください。  
→ 請盡情享用，想吃多少就吃多少。

## 七、常見錯誤與總整理

### 易混的兩組

對比	用法 A	用法 B
をはじめ ↔ からして	をはじめ：舉正面／中性的代表例	からして：連非重點都如此（多負面）
を通じて A ↔ B	A：整段期間一直...	B：透過某中介、手段

### ■ 常見錯誤

- **×** この式典には市長からして多くの人出席した。  
○ **この式典には市長をはじめ、多くの人出席した。**  
舉正面、中性的代表例用をはじめ；からして是「連這種小地方都...」帶負面。
- **×** 昨日、二日にわたって地震が起きた。  
○ **二日にわたって余震が続いた。**  
にわたって 後接「在該範圍持續」的狀態，不接一次性事件。
- **×** 包丁を通して野菜を切った。  
○ **通訳を通して相手と話した。**  
を通して 接「居中的人或物」，不接直接使用的工具。
- **×** 体が動く限りでは、働きたい。  
○ **体が動く限り、働きたい。**  
「只要...就」這裡用 限り（は）（第5課）；限りでは是「就我所知的範圍」。

自己輸出：用 をはじめ・からして・にわたって・を通じて／を通して・限り・だけ 各寫一句。可介紹一個地方、一段長時間的事，或盡力而為的決心。

---

---

---

---

---